道路行政セミナー10年 12月号 NO.027 2010年 12月 17日発行

ポイント

◇◆特 集◆◇

★平成 20 年度道路交通管理統計の概要★

(国土交通省 道路局 道路交通管理課)

道路交通管理統計は、毎年、全国の道路管理者に調査のご協力をいただいて作成し、道路の管理体制等を的確に把握するとともに、道路の実態に即した望ましい道路交通管理のあり方を検討するための基礎資料としている。

本稿においては、平成20年度調査の結果について検証し、今後の課題を探る。

◇◆道路法令Q&A◆◇

★負担金等の強制徴収について★

(国土交通省 道路局 路政課)

負担金等の強制徴収について解説する。

♦TOPICS**♦**

★首都高速道路を経由した乗合バスの運行について★

(東武バスウエスト株式会社/首都高速道路株式会社)

東武バスウエスト㈱は、平成 22 年 7 月 26 日 (月) から首都高速埼玉新都心線を経由した乗合 バスの運行を開始。運行区間は、さいたま新都心駅東口から東新井団地までの 4 km で、一 般街路経由と比較し所要時間をラッシュ時で約 1 0 分短縮。地域住民の通勤・通学、買物等を支える乗合バスが、埼玉県内の首都高速道路を走行するのは初めて。

◇◆地域における道路行政に関する取組み事例◆◇

★道路防草対策検討会について★

(内閣府 沖縄総合事務局 開発建設部 道路管理課)

沖縄県においては、高温多湿の亜熱帯性気候とういう気象条件で雑草の繁殖力が旺盛であるため、除草の頻度が大きなとなっています。

このため、道路防草対策検討会を開催し有識者からの意見を踏まえ、防草植物および構造物による防草対策を試験施工し、防草効果(雑草抑制)やコストの有効性を検証します。 これにより、効率的・効果的な維持管理が図れるよう取り組んでいます。

★『ぐんまの道』戦略的・計画的な維持修繕を目指して★

(群馬県 県土整備部 道路管理課)

社会資本の根幹である道路については、車両の大型化や交通量の増加、経年劣化、利用 者ニーズの多様化などと相まって、より効率的で効果的な維持管理が求められています。

厳しい経済社会情勢の下、長寿命化を視野に入れた維持修繕計画の検討、車で走ると音楽を奏でる道路「メロディーライン」など、群馬の新たな取り組みを紹介します。

★温泉と高原、文化とスポーツの国際温泉リゾート・草津★ (草津町 愛町部 土木課)

日本有数の温泉観光として草津町は、国内外から訪れる観光客をおもてなしの心でお迎えするにあたり、日本風景街道「浅間・白根・志賀さわやか街道」を中心として、沿線町村とともに花の植栽活動、清掃活動を通じ、「お客様を気持ちよくおもてなしをする地域」を目指し道路管理を行っています。

◇◆編集後記◆◇

何かに、情熱をそそいだことありますか。

学生時代にはスポーツをしていたものの"青春をかけました"というにはおこがましい 経験しかもたない私ですが、間もなく始まる"青春をかけた若者たちの戦い"を毎年楽し みにしています。

東京大手町-箱根芦ノ湖間の約 200 kmを、襷を繋ぎ疾走する選手たち。 1月2日・3日に行われる"箱根駅伝"。

正式名称は、"東京箱根間往復大学駅伝競走"という関東の大学の対抗戦で、関東以外に 有力な大学があっても出場することはできません。そのため、全国の高校の優秀な長距離 選手の殆んどが、関東の大学に進学する現状もあるそうです。

その歴史は古く、今から 90 年も前の 1920 年 (大正 9) に誕生しました。今でこそテレビ中継がされ、お正月の風物詩ともなりましたが、初めて生中継放送がされたのは 1987 年 (昭和 62) の第 63 回大会からで、箱根山中の電波障害のため実現が難しかったそうです。 来年は、前回大会でシード権を獲得した 10 チームと予選会を通過した 10 チームを加えた計 20 チームが出場し、往路 5 区間 (108.0 Km)、復路 5 区間 (109.9 Km) の合計 10 区間 (217.9 Km) において、時には励ましあいながら練習に励み、苦楽をともにしてきた先輩や仲間たちの汗や涙の染みこんだ襷が繋がれていきます。

この繋がれてきた襷を背負うことは、とても重責であることと思われますが、選手たちの襷を繋ぐ直向な姿勢が毎回とても心に残ります。ただ、交通規制の関係上、各中継所において、先頭で通過した選手の 20 分後(往路の鶴見・戸塚中継所は 10 分)には次の選手がスタートしなければならない繰上げスタートという制度があり、時には襷をつなげない選手も出てきてしまいます。しかしながら、順位に関係なく、苦楽をともにしてきた仲間を思いやり、力を合わせてひたむきにゴールに向かうその姿は、感動とともに、羨ましさを覚えます。

選手たちのように1つのことに情熱を注ぎ込むことは難しいかもしれませんが、時には見えない襷を肩にかけ、2011年という新しい1年を有意義なものにしていきたいと思います。 (U)